

ハリアー (AVANT EMOTIONAL) モデリスタバージョン

フロントスポイラー 取付要領書

品番: D2531-63220
MSD41-48009/10

設定型式: MXUA8#/AXUH8# 設定グレード: 全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。



シグネチャーイルミグリル同時装着の場合は、ハーネス接続方法が異なります。
P5 10項をご確認下さい。

取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名ずつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ずイソプロピルアルコール(IPA)で脱脂して下さい。
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- (重要)** ■両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。
(PACプライマー-K500を本品に添付)
プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。
- (重要)** ■両面テープは、外気温が15℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂をきちんと行なって下さい。
- (重要)** ■両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)

取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)

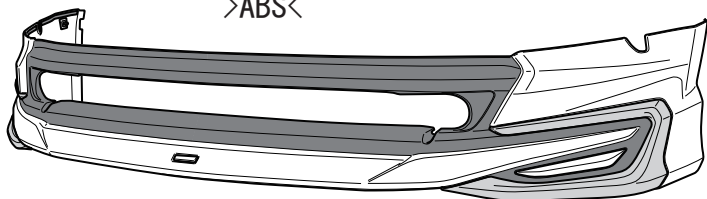


アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品

①

>ABS<



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	グロメット	4
③	クリップ	2
④	六角頭タッピングスクリュー(M6×16)	4
⑤	PACプライマー K-500	1
⑥	スポンジシート	2
⑦	取付要領書	1
⑧	ハーネスキット	1
⑨	穴あけ用型紙 (A/B/C)	各1

②



③



④



⑤



⑥



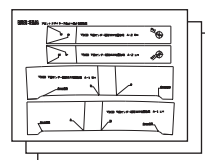
⑦



⑧

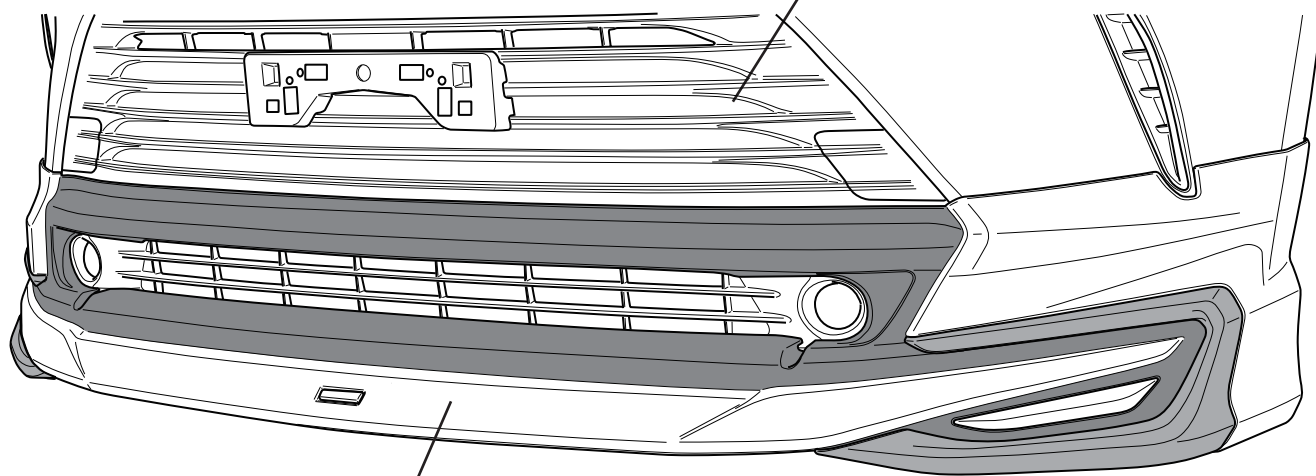


⑨



取付概要

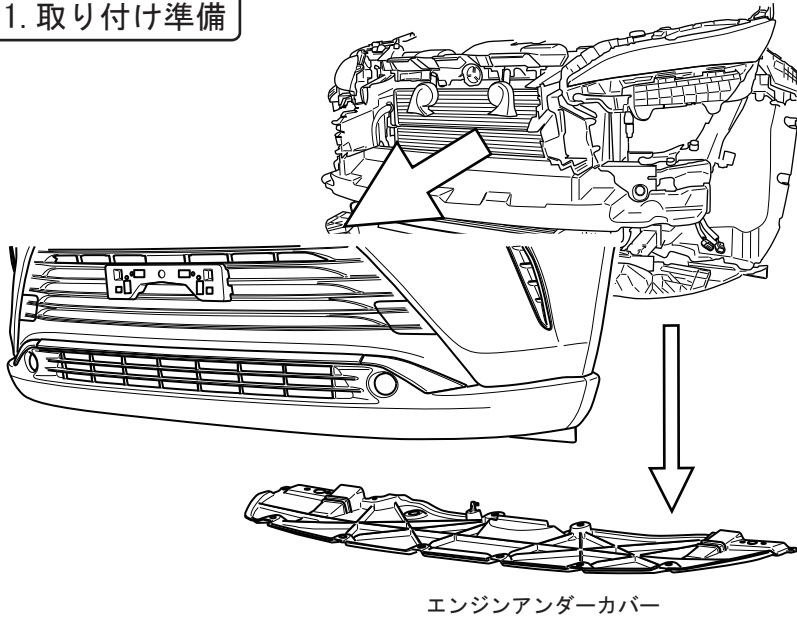
フロントバンパー



① フロントスポイラー

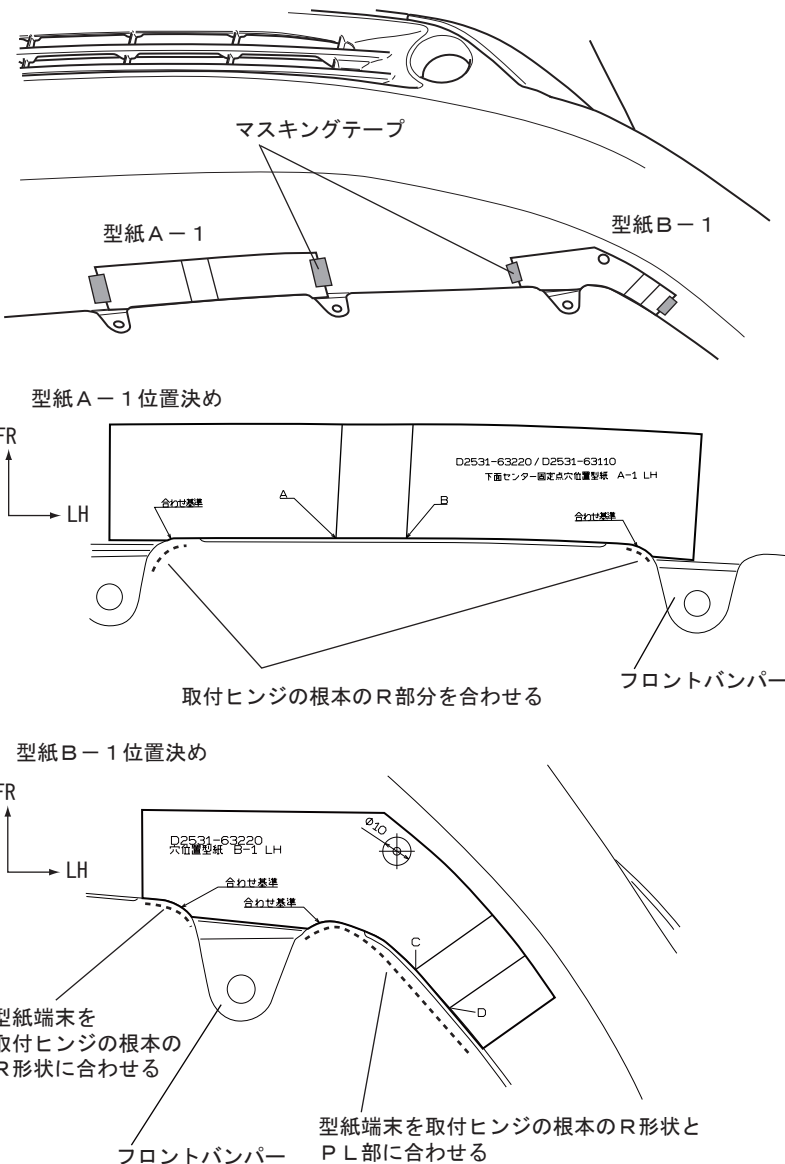
取 付 手 順

1. 取り付け準備



エンジンアンダーカバー

※図示はLH。RHも同様の作業を行なってください。



1. バッテリーのマイナス端子を取り外す。

👉 アドバイス

- ・バッテリーのマイナス端子を取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

2. フロントバンパーとエンジンアンダーカバーを取り外す。

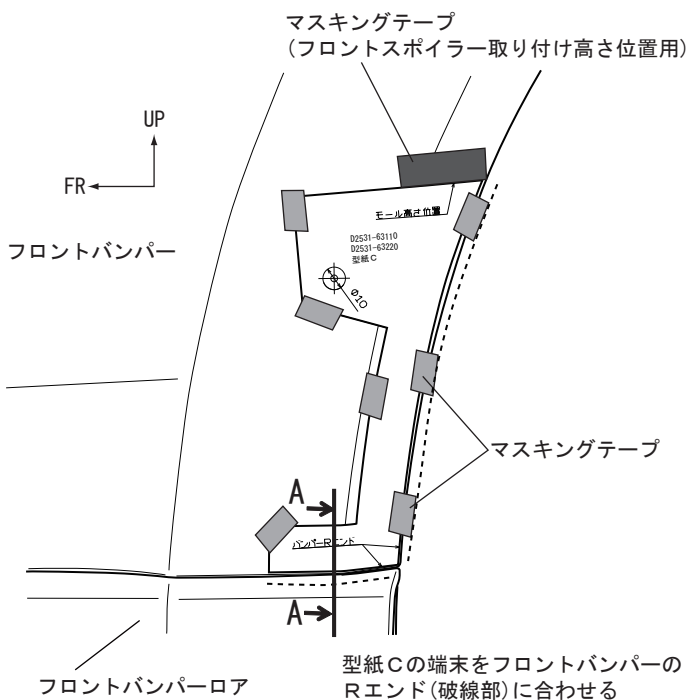
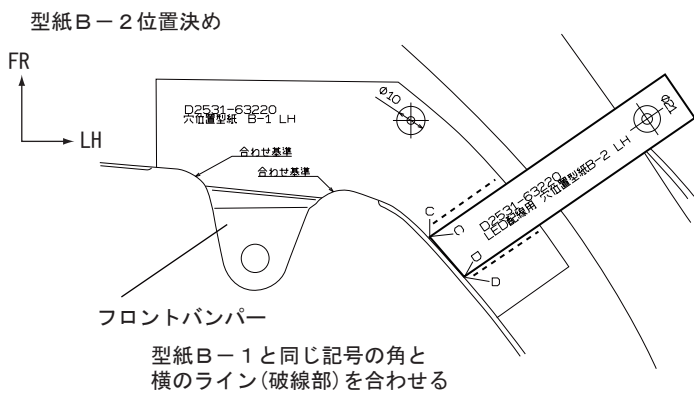
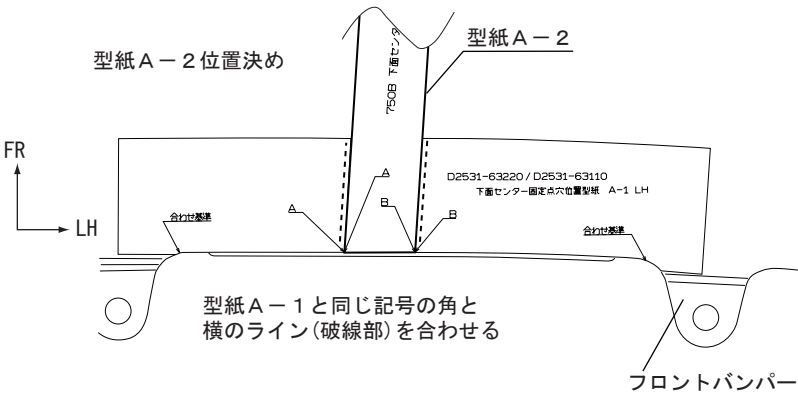
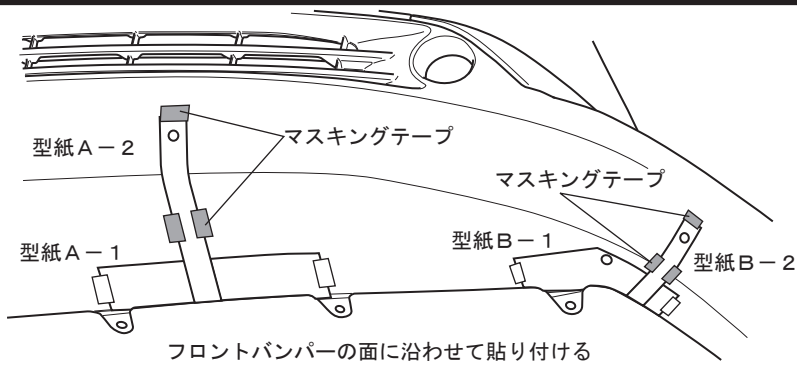
👉 アドバイス

- ・フロントバンパー、エンジンアンダーカバーを取り外す際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。

👉 アドバイス

- ・取り外した車両タッピングスクリュー、車両クリップ、車両ボルトは再使用しますので、紛失しない様ご注意ください。

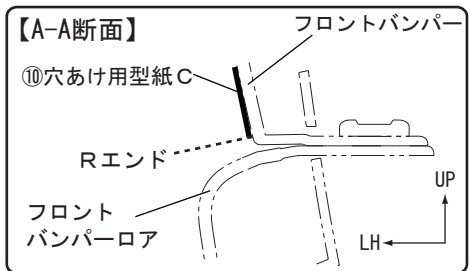
3. フロントバンパー下面に型紙A-1、B-1をそれぞれ左図の要領で位置決めし、マスキングテープ等で貼り付ける。

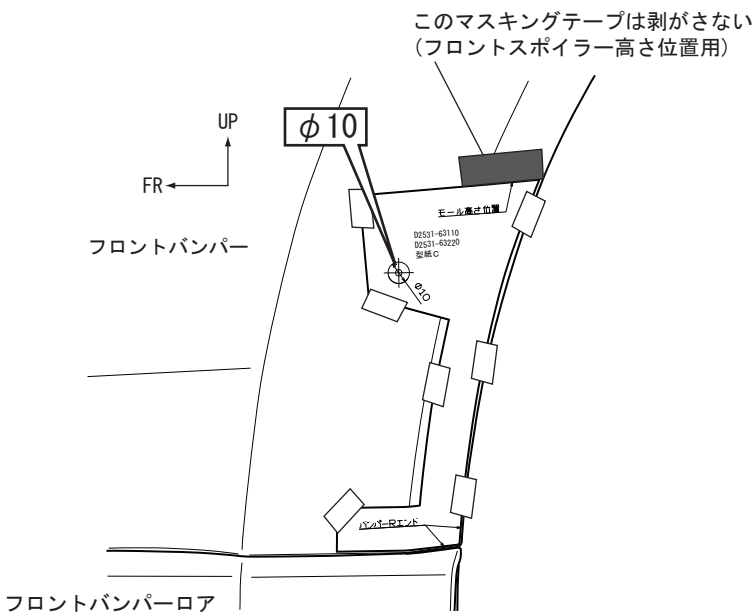
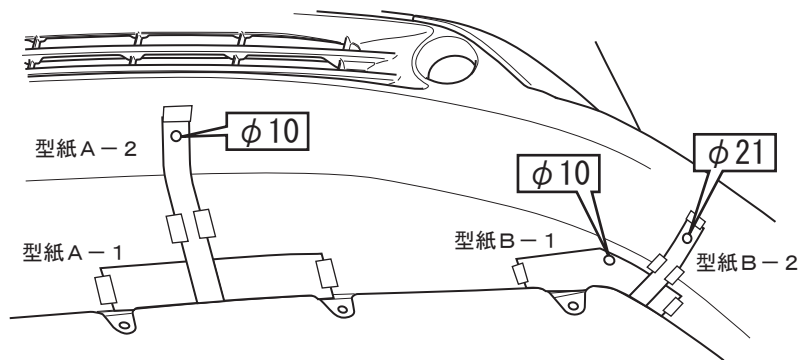


4. 前項で貼り付けた型紙A-1、B-1に合わせて型紙A-2、B-2を左図の要領で位置決めし、マスキングテープ等で貼り付ける。

5. フロントバンパー側面に型紙Cを左図の要領で位置決めし、マスキングテープ等で貼り付ける。

6. 型紙C上端にマスキングテープの下端を合わせ、マスキングテープを貼り付ける。(フロントスポイラー取り付け高さ位置)





7. 各型紙の穴センター部に下穴をあける。

アドバイス

下穴をあける際は、穴の中心を狙い、ケガキ針ないしは、画鋸を用いて行なって下さい。

8. 指定の穴径で穴をあける。

(左図参照)

アドバイス

穴あけの際は、
下穴： $\phi 3\text{mm} \rightarrow \phi 6\text{mm} \rightarrow$ 本穴 $\phi 10\text{mm}$ 、
下穴： $\phi 3\text{mm} \rightarrow \phi 6\text{mm} \rightarrow \phi 10\text{mm} \rightarrow$ 本穴 $\phi 21\text{mm}$
で穴あけを行なって下さい。

9. 型紙を剥がす。

(左図参照)

(フロントスポイラー高さ位置用は剥がさない)

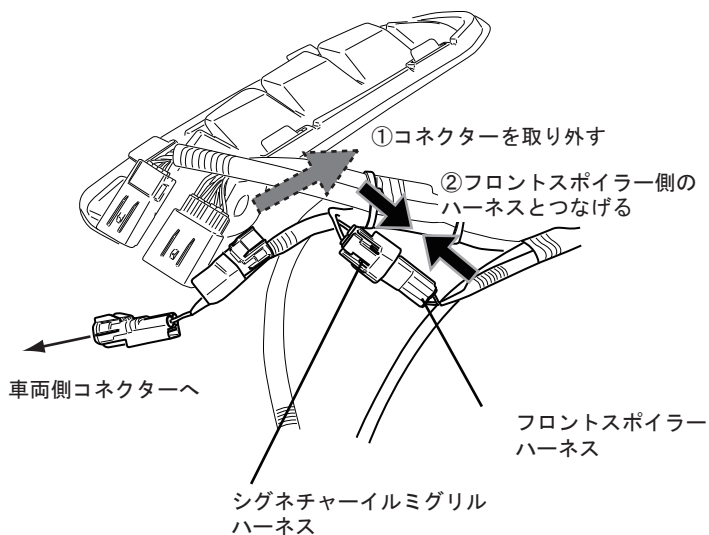


フロントバンパー復元前にハーネスキットを取付けて下さい。

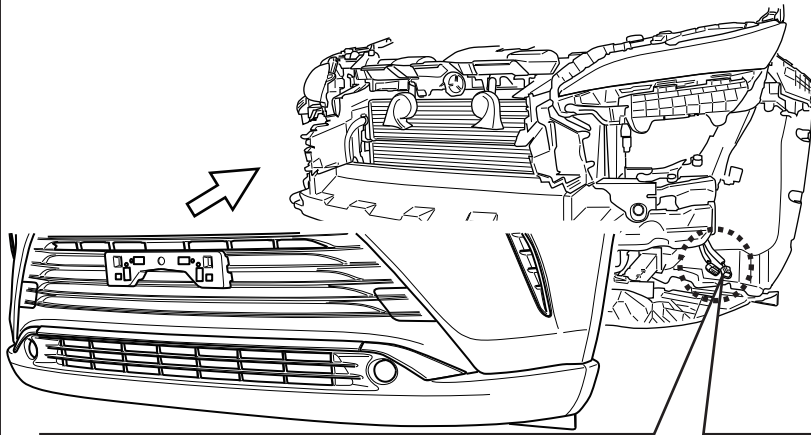


シグネチャーイルミグリル同時装着の場合のみ以下の作業を行なってください。

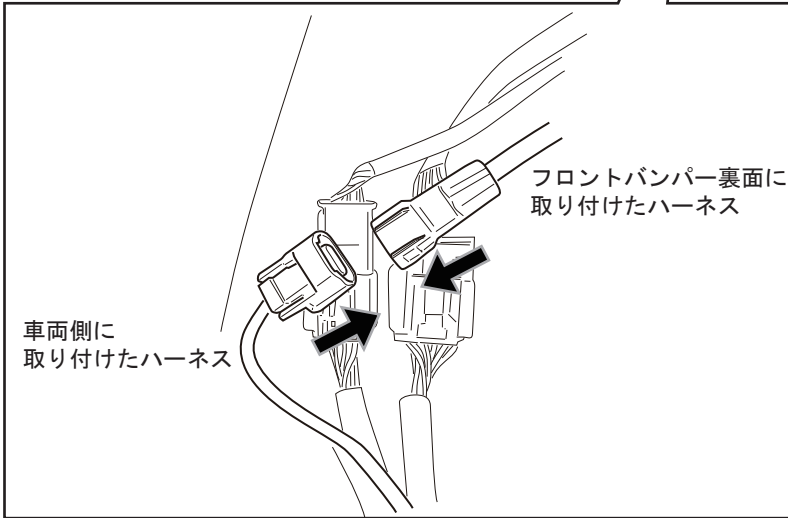
【バンパー裏面 コネクター部】



10. シグネチャーイルミグリルのハーネスの途中のコネクタを取り外し、フロントスポイラーのハーネス(バンパー用)につなげる。
(左図参照)



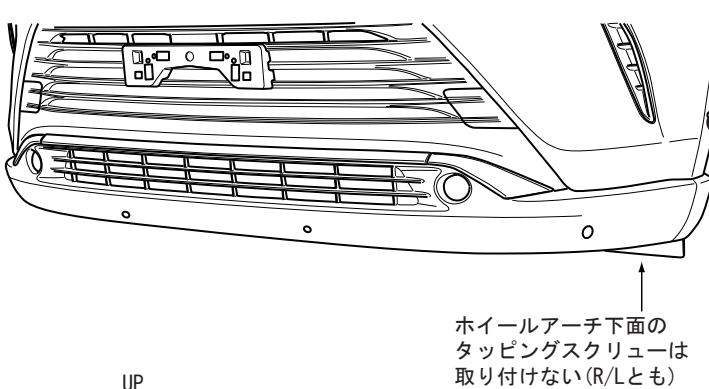
11. フロントバンパーを車両に近づけ、車両側配線（センサー・フォグランプ等）のコネクタを接続する。
同時に車両に取り付けたハーネスとバンパー裏側のハーネスをつなげる。
(左図参照)



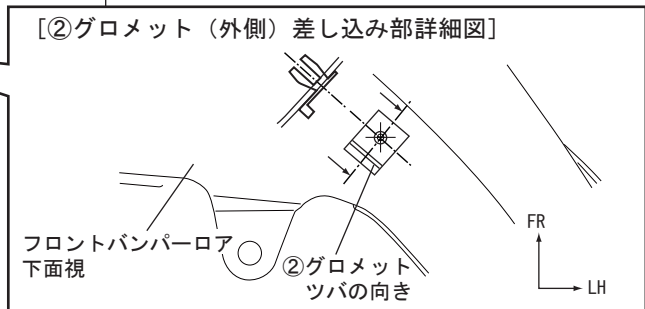
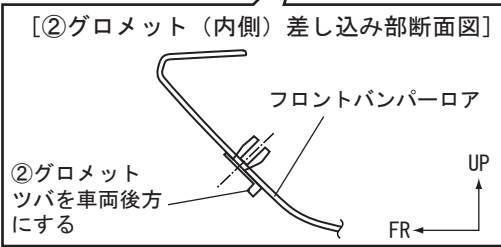
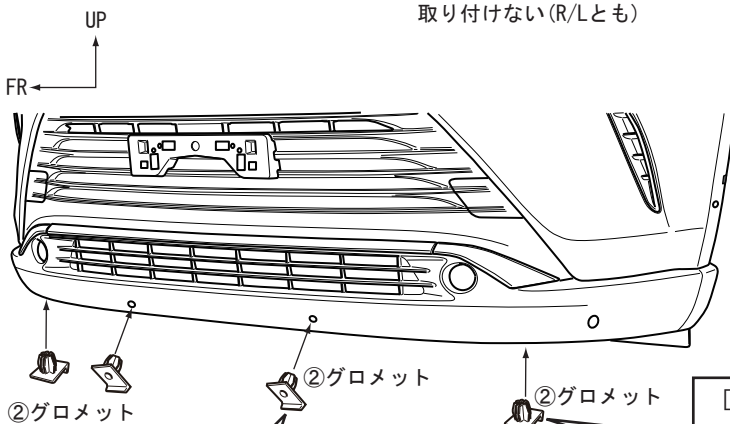
12. フロントバンパーを車両に取り付ける。
※エンジンアンダーカバーは取り付けない

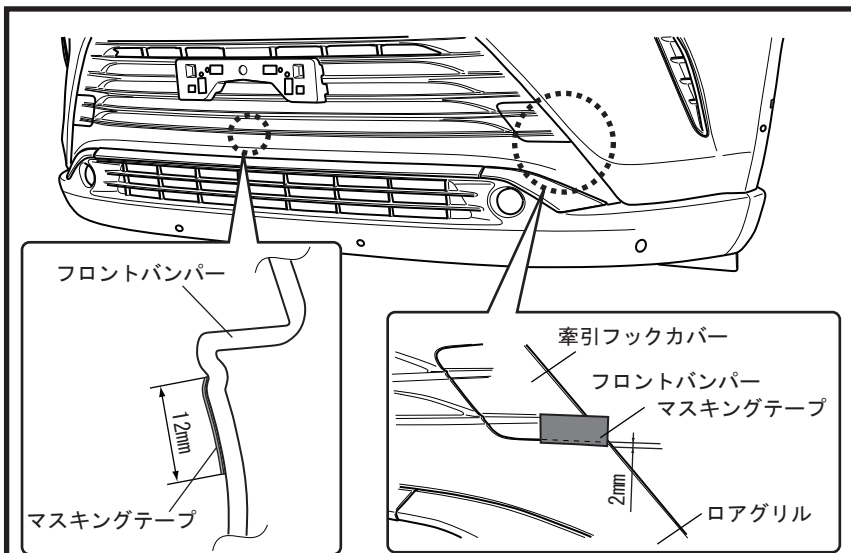
アドバイス

フロントバンパーを復元する際は、トヨタ自動車整備マニュアルを参照して下さい。



13. 左図を参照にフロントバンパーのφ10で
穴をあけた個所に、②グロメットを差し
込む。(左右計4ヶ所)

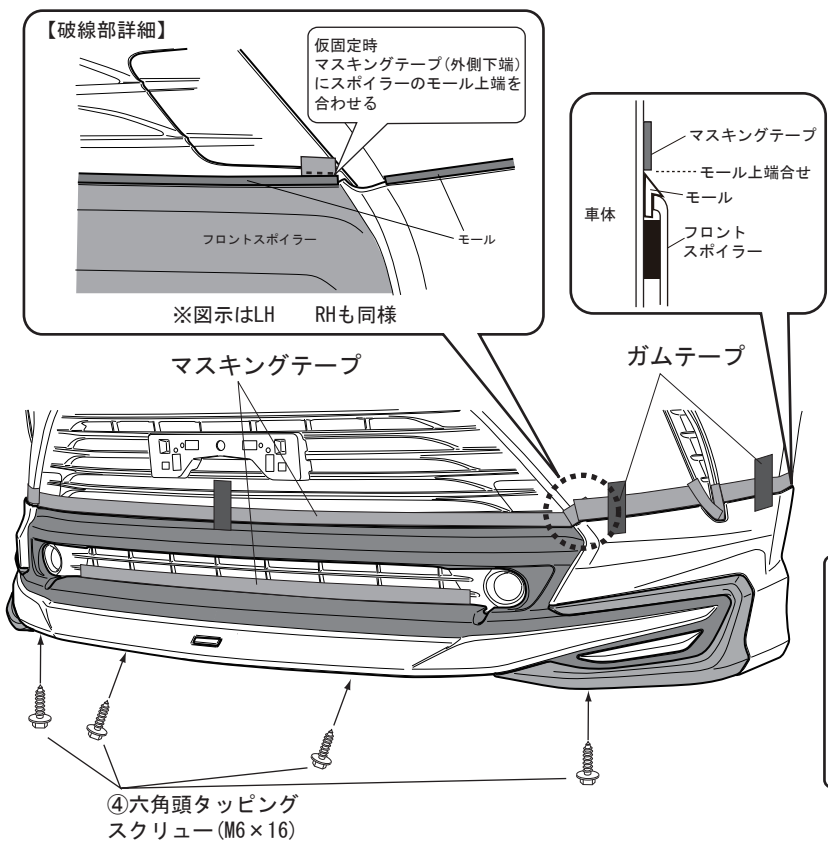




14. ナンバープレートを取り外し、左図を参照にフロントバンパーのセンター部の溝から12mm下の位置にマスキングテープ下端を合わせ、貼り付ける。

15. 左図を参照にフロントバンパーの牽引フックカバー下端から2mm下の位置にマスキングテープ下端を合わせ、貼り付ける。

2. 仮付けとプライマーの塗布



1. ①フロントスポイラーをフロントバンパーにかぶせ、取り付け位置を決め、ガムテープ等で仮固定する。
(左図参照)

アドバイス

フロントバンパーにキズをつける恐れがあるため、製品を被せる際は側面のボルトに注意して取付けを行なってください。

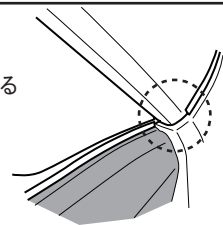
2. ①フロントスポイラー下面を④六角頭タッピングスクリュー(M6×16)にて仮締めする。(左図参照)

3. スポイラー外周にマスキングテープを貼り付ける。

【破線部詳細】

モールド無し区間を
左右均等スキにする

※図示はLH
RHも同様

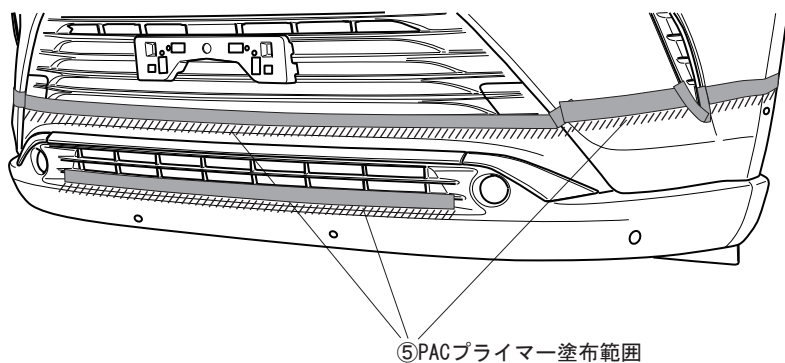


4. ①フロントスポイラーを一旦取り外し、両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を清掃後、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂する。

5. 両面テープ貼り付け部(左図斜線部)に⑤PACプライマー-K500を塗布する。

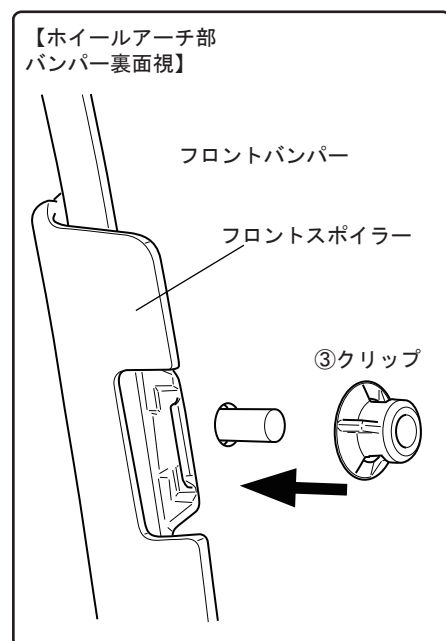
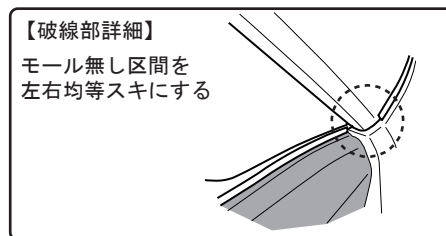
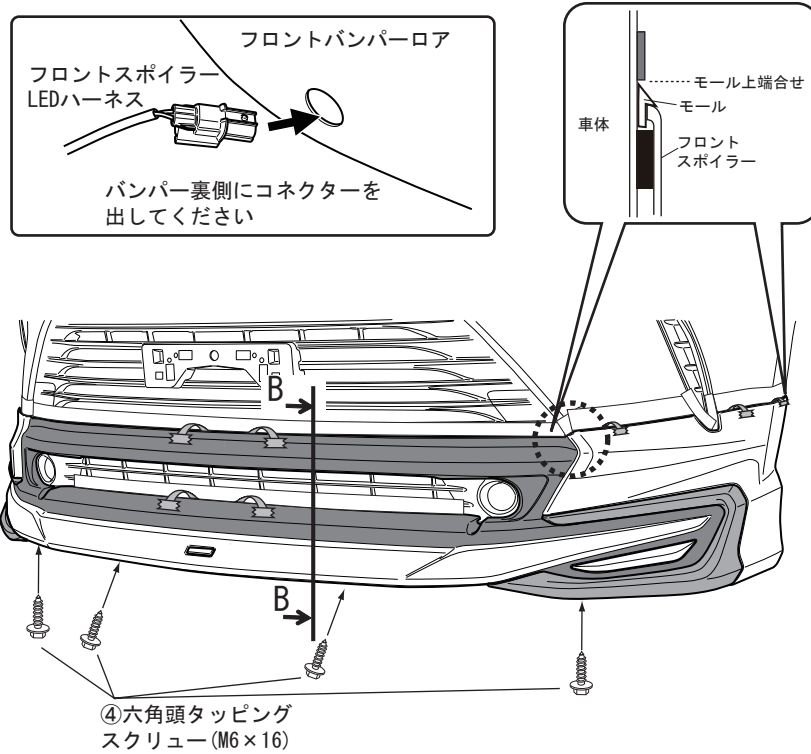
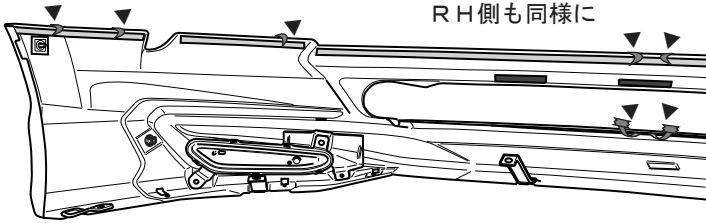
アドバイス

- ・PACプライマー-K500は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ・PACプライマー-K500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。
- ・ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。



3. 取り付け

LH裏側図示
RH側も同様に



1. ①フロントスポイラーの両面テープ離型紙を一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。

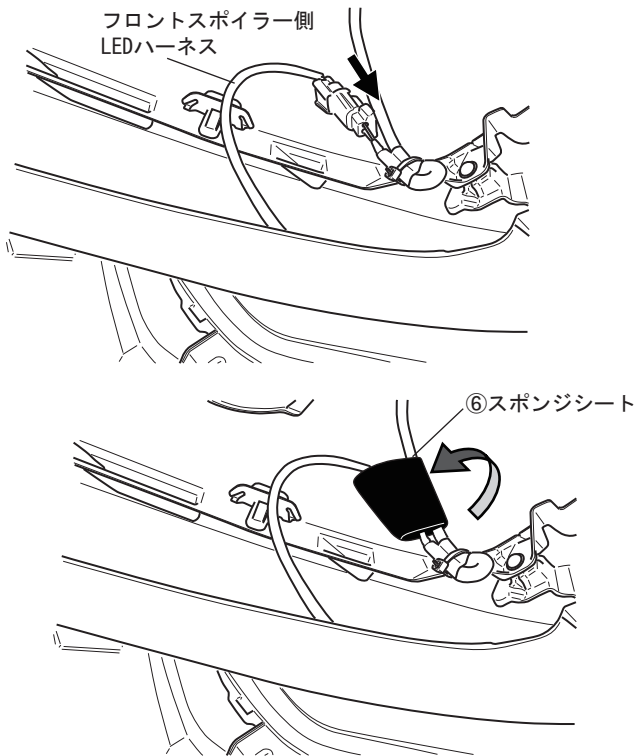
2. ①フロントスポイラーを左図の要領でフロントバンパーに合わせる。

アドバイス
フロントバンパーにキズをつける恐れがあるため、製品を被せる際は側面のボルトに注意して取付けを行なってください。

アドバイス
フロントスポイラー側のLEDユニットから出ているハーネスをバンパーの裏側へ通してください。

3. ①フロントスポイラー下面を④六角頭タッピングスクリュー (M6×16)にて仮締めする。(左図参照)

4. フェンダーライナーをめくり、バンパー裏面から③クリップをボルト部に押し込み、仮締めする。(左右計2ヶ所)



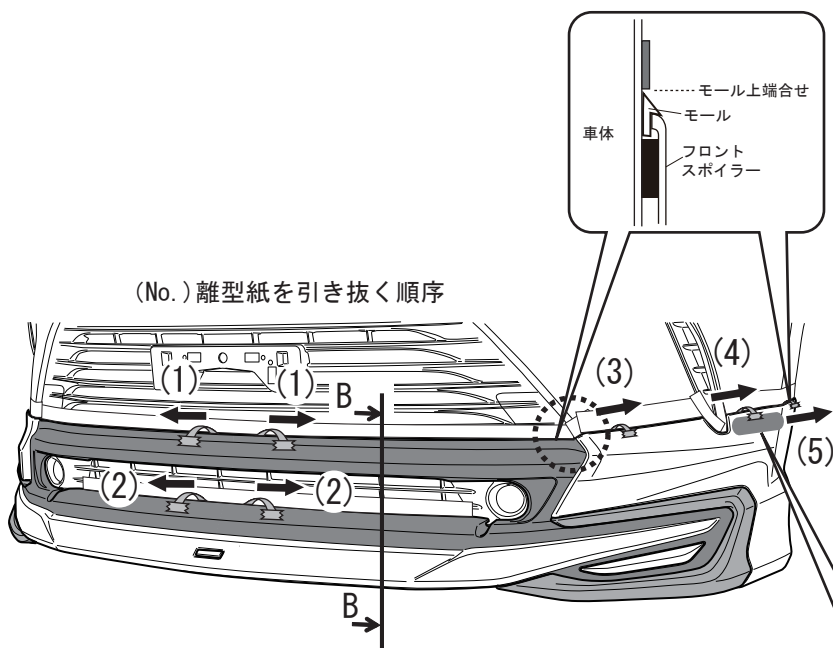
5. フロントバンパーの下から裏面に手を入れて、LEDのハーネスをつなぐ。

6. バッテリーのマイナス端子をつなぎ、点灯するか確認する。
(イグニッションONで点灯)

7. つないだコネクタ部に⑥スポンジを巻き付ける。

アドバイス

コネクタ部のスポンジで異音が出ないことを確認してください。



8. 両面テープ離型紙を(1)～(5)の順に引き抜きながら外側に向けて圧着する。

※離型紙を引き抜く際に、①フロントスポイラーの取り付け位置が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。

アドバイス

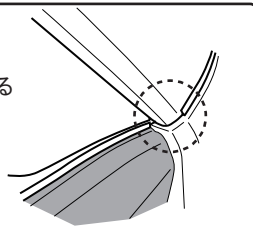
- ・ 離型紙が途中で切れない様に、①フロントスポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・ 両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行って下さい。

【B-B断面】

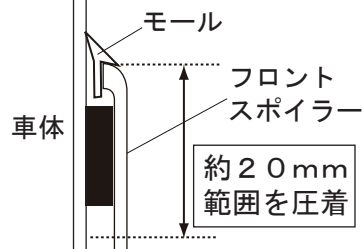


【破線部詳細】

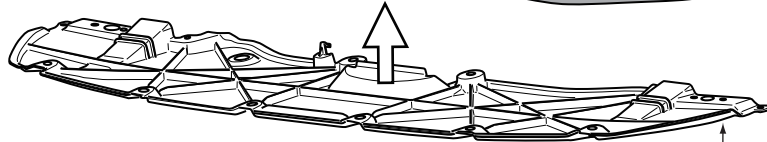
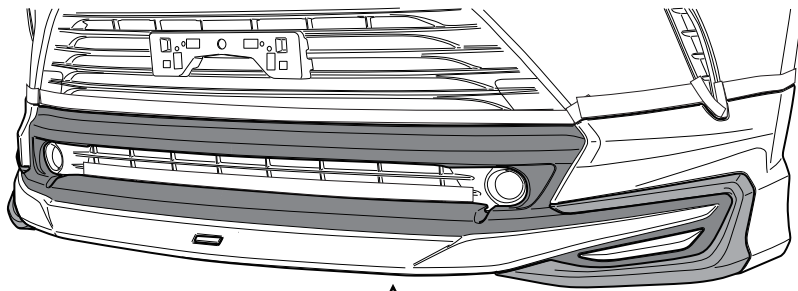
モール無し区間を左右均等スキにする



【図示部断面】



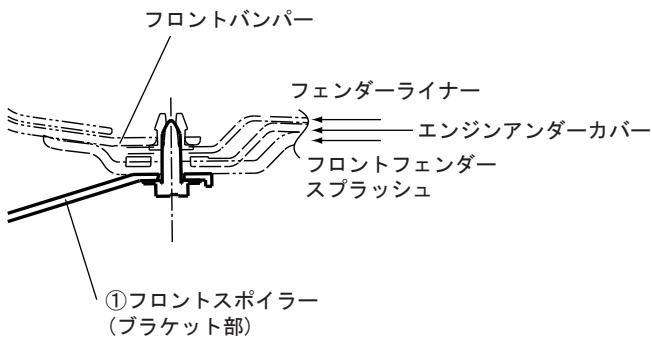
図示部 両面テープ圧着の際は、上図範囲を念入りに圧着して下さい。



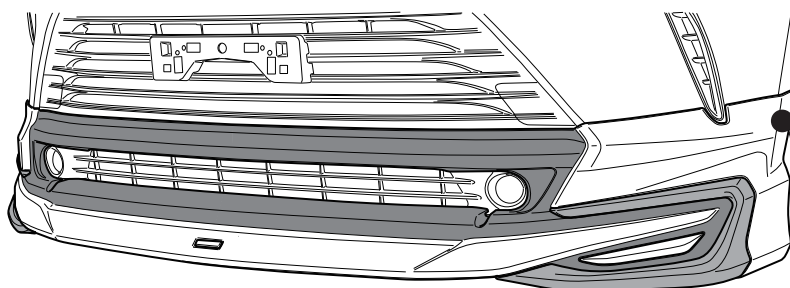
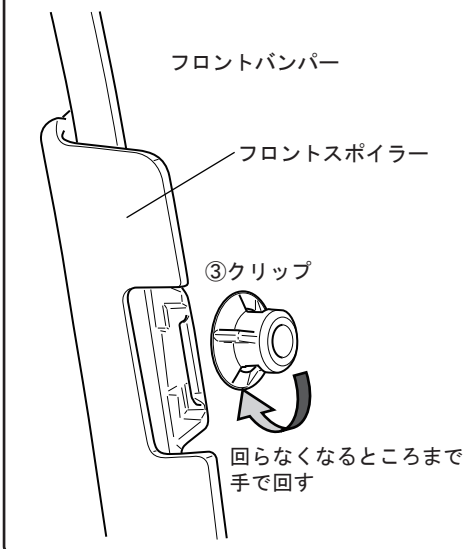
エンジンアンダーカバー

車両タッピング
スクリュー

【ホイールアーチ部下側断面図】



【ホイールアーチ部
バンパー裏面視】



フェンダーライナーの
クリップをはめ込む

9. エンジンアンダーカバーを復元する。

アドバイス

エンジンアンダーカバーを復元する際は、
トヨタ自動車整備マニュアルを参照して
下さい。

10. ①フロントスポイラーの浮き・剥がれがないかを確認し、再度両面テープ貼り付け面を圧着する。

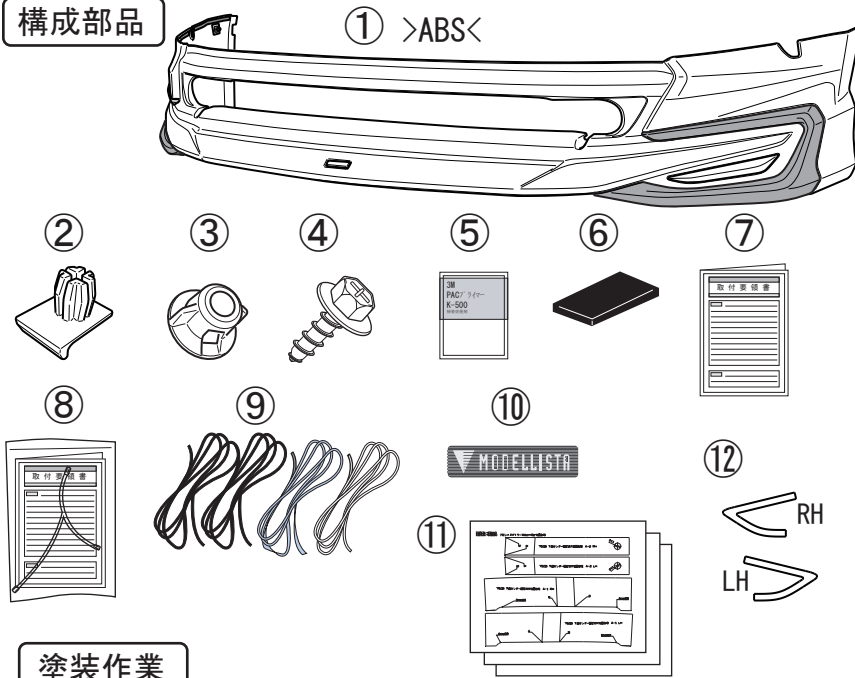
11. フロントバンパーに貼り付けたマスキングテープ等を全てはがす。

12. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから全ての仮締め部を本締めする。

13. ホイールアーチ部のフェンダーライナーのクリップをはめ込む。

フロントスポイラー素地品の塗装手順

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	グロメット	4
③	クリップ	2
④	六角頭タッピングスクリュー (M6×16)	4
⑤	PACプライマー K-500	1
⑥	スポンジシート	2
⑦	取付要領書	1
⑧	ハーネスキット	1
⑨	エンドモール	ライトグレー: 1 ブラック: 2 グレー: 1
⑩	エンブレム	1
⑪	穴あけ用型紙 (A/B/C)	各1
⑫	マスキングシール	R/L各1

⑨エンドモール推奨使用色

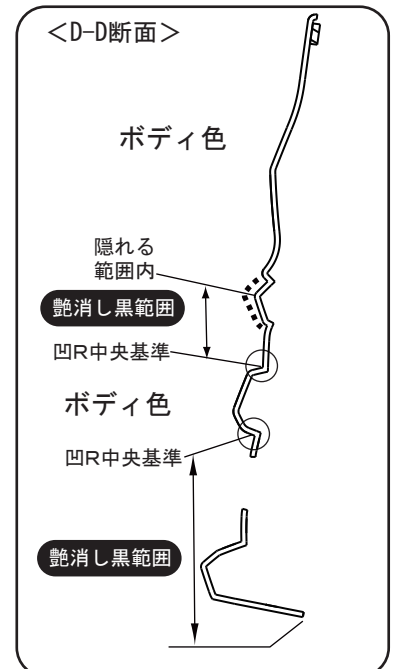
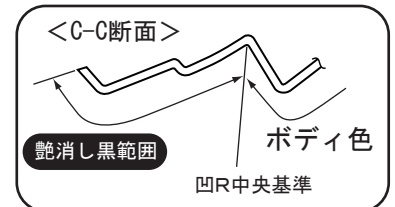
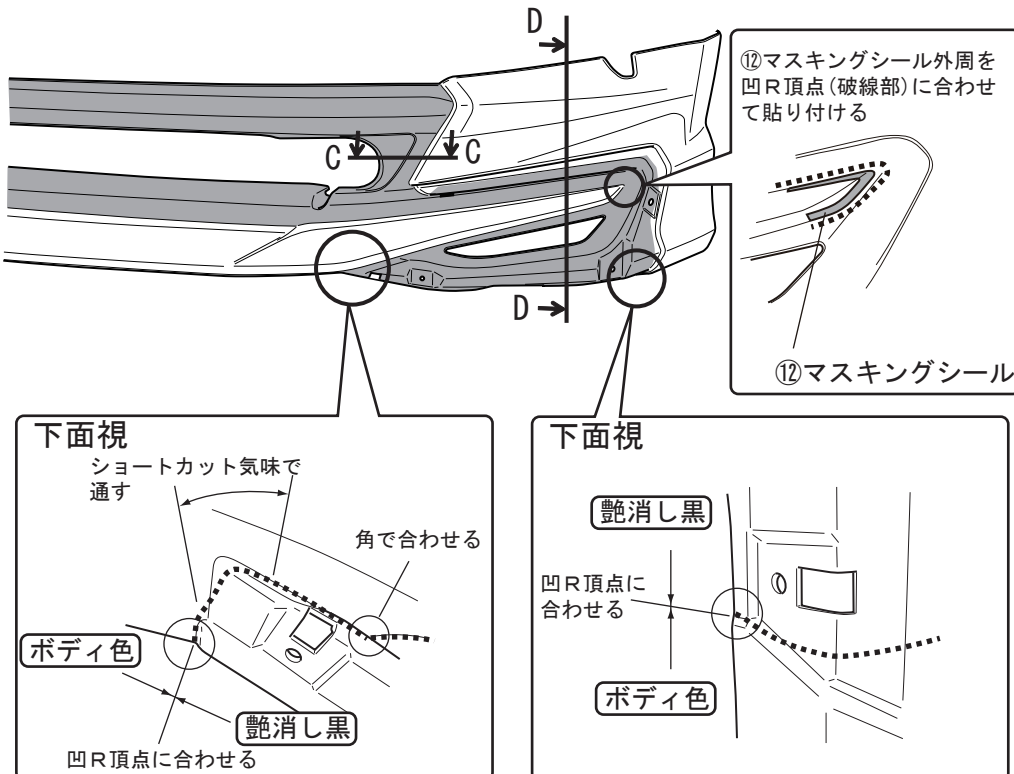
色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
1K9	スレートグレーメタリック	ブラック
202	ブラック	ブラック
219	プレシャスブラックパール	ブラック
3T3	センシユアルレッドマイカ	ブラック
4X1	スチールブロードメタリック	グレー
8X8	ダークブルーメタリック	ブラック

塗装作業

1. 本体に仮付けしてある別パーツ・LEDユニットを取り外す。
(取り外したビス・クリップは再使用します。)

注意： 別パーツを取り外す際は、差し込み「爪形状」を破損しないよう注意して作業を行ってください。

2. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
3. 製品に貼り付けてある両面テープ・スポンジ・ネジ部をマスキングする。
4. プライマー塗装を行なう。
5. 上塗り塗装を行なう。
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
6. 下図を参考にマスキングを行ない、範囲内に**艶消し黒塗装**を行なう。
7. 乾燥
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

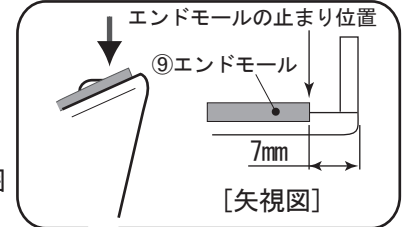
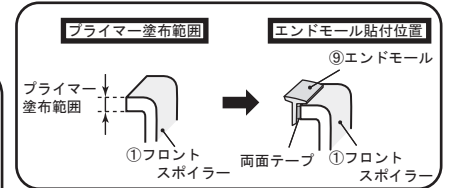


エンドモールの貼り付け

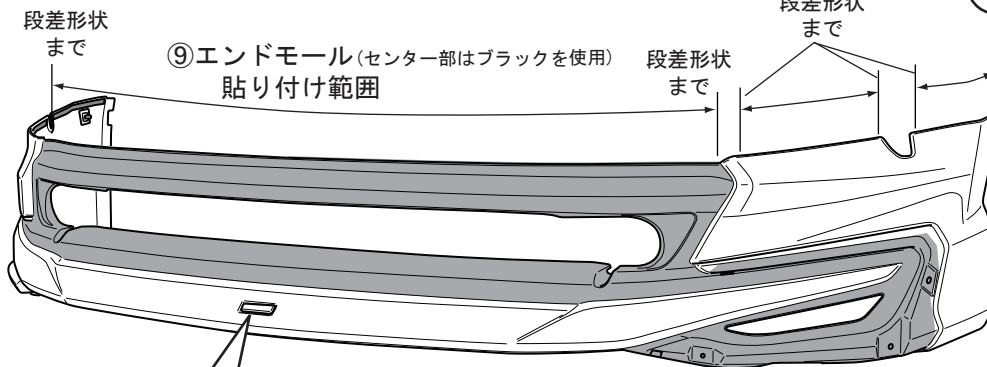
1. 塗装終了後、⑨エンドモールを貼り付ける部分を清掃後、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂し、⑤PACプライマーK-500を塗布する。

アドバイス

- ⑤PACプライマーK-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取って下さい。
- ⑤PACプライマーK-500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

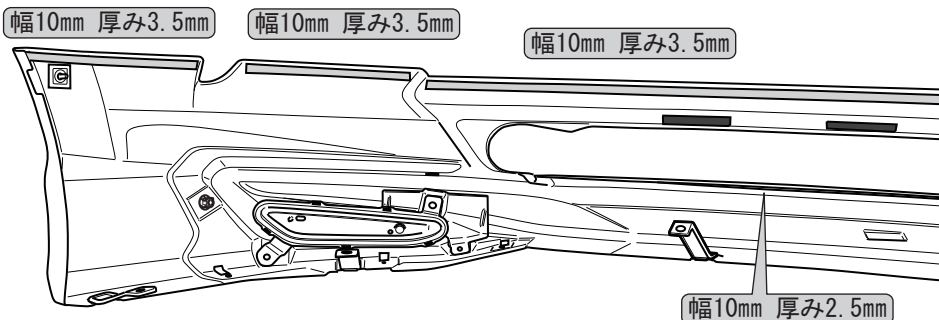


2. 下図の要領で⑨エンドモールを貼り付ける。
3. 下図の要領で⑩エンブレムを貼り付ける部分を清掃・脱脂し、座面中央に貼り付ける。



補修キット両面テープ貼り付け

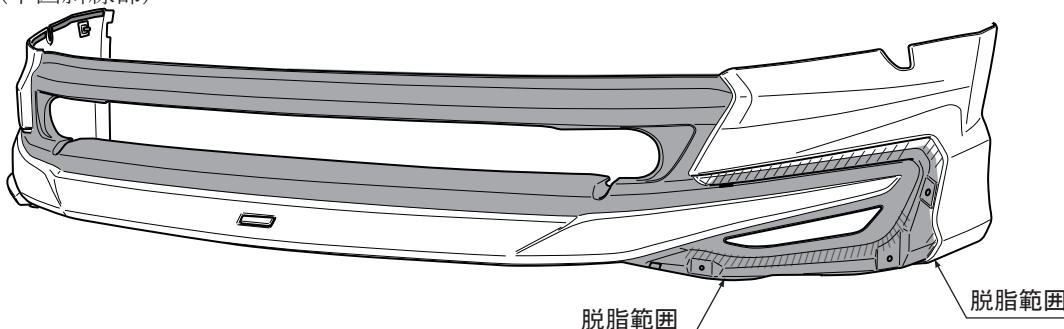
1. 補修キットを使用してフロントスポイラーの再取り付けを行う際は、下図を参考に両面テープを選択しイソプロピルアルコール(IPA)で脱脂・PACプライマーK500を塗布した後、貼り付けを行なってください。



LH裏側図示
RH側も同様に

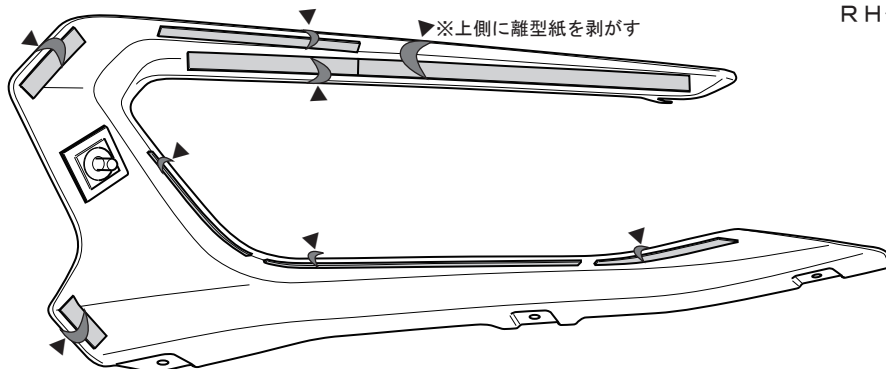
別パーツの取り付け

1. ①フロントスポイラーの別パーツを取り付ける部分をイソプロピルアルコール(IPA)で脱脂脱脂する。(下図斜線部)



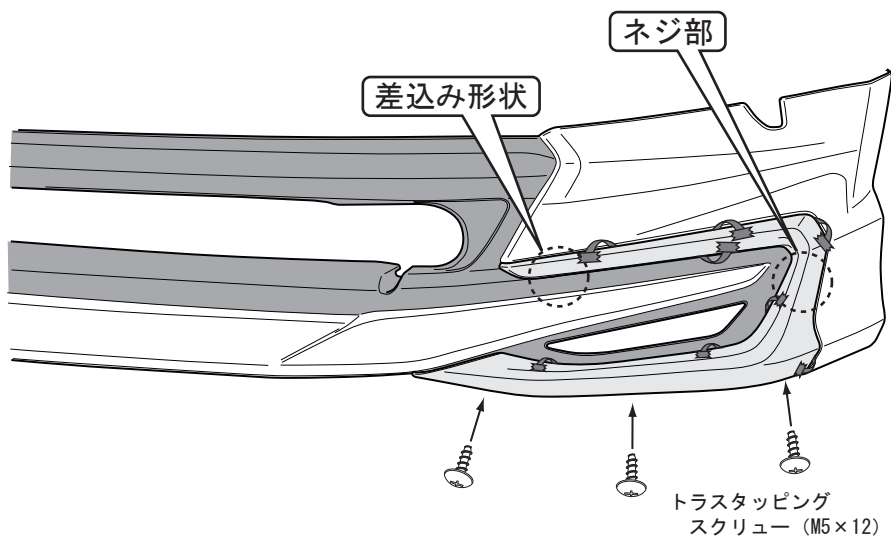
2. 別パーツの両面テープ離型紙をセンター側から一部剥がし、表面に折り返してマスキングテープ等で貼り付ける。

別パーツ LH裏側図示
RH側も同様に

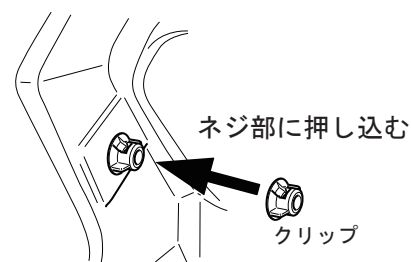


3. 別パーツ上側の爪形状を①フロントスポイラー穴に差込み、別パーツ裏面のネジでキズをつけないよう注意しながらはめ込み、別パーツ外周のスキが均等になる様に位置決めを行なった後、下面3ヶ所をトラスタッピングスクリュー (M5×12) で仮固定する。

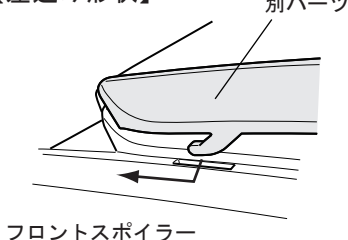
4. 別パーツ裏面のネジ部にクリップを押し込み、仮固定する。



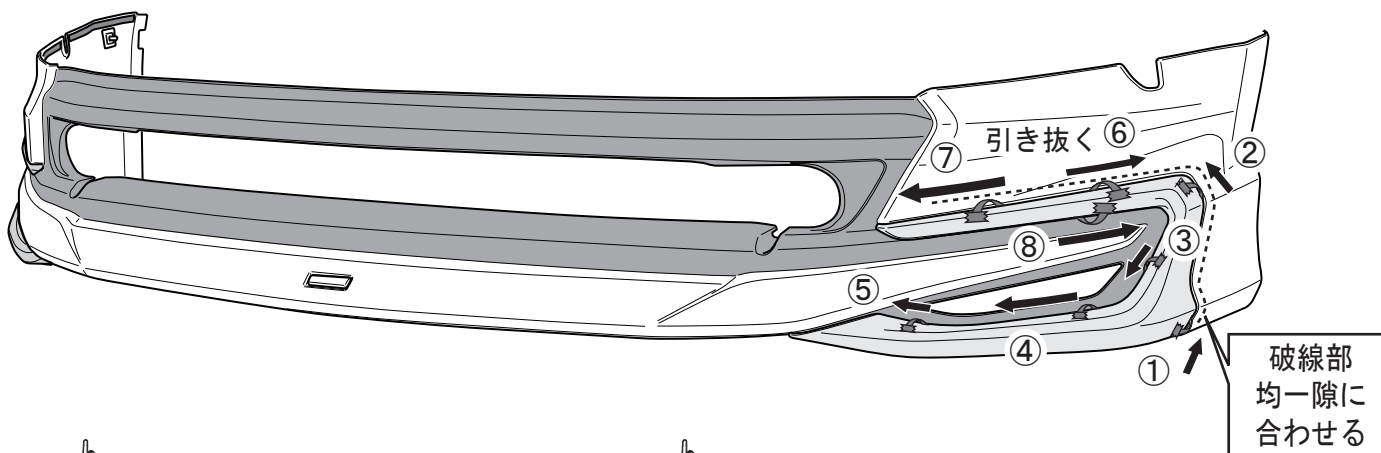
【ネジ部裏面】



【差込み形状】



5. ①フロントスポイラーと別パーツ外周のスキが均一なことを確認してから両面テープの離型紙を下図矢印の方向へ引き抜きながら圧着する。



👉 アドバイス

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。また、別パーツに亀裂が入るおそれがありますので、気を付けて作業して下さい。

👉 アドバイス

離型紙が途中で切れない様に、別パーツを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行って下さい。

6. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから下面トラスタッピングスクリュー (M5×12) を全て本締めする。

7. 裏面ネジ部のクリップを手で動かなくなるまで固定する。

【ネジ部裏面】



LEDユニットの取り付け

1. ①フロントスポイラーのLEDユニット取付部を清掃後、イソプロピルアルコール(IPA)で脱脂し、⑤PACプライマーK-500を塗布する。(下図斜線部)

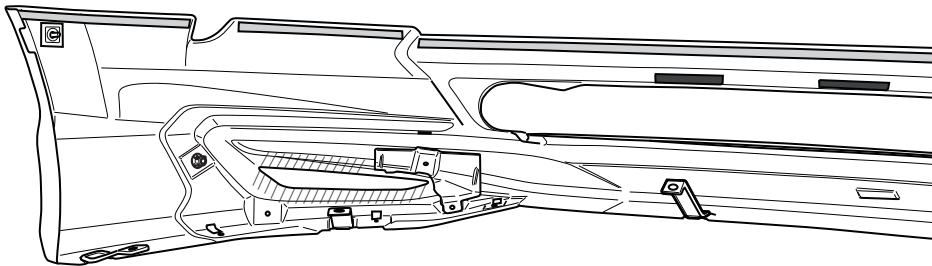
アドバイス

⑤PACプライマーK-500は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
⑤PACプライマーK-500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

アドバイス

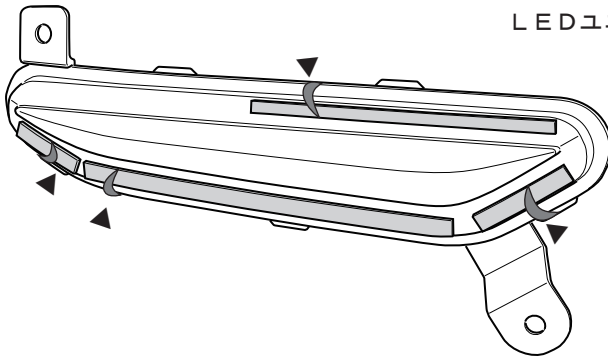
⑤PACプライマーK-500を塗布する際は塗装表面に垂れないように十分注意してください。
塗装表面を侵し、外観に支障をきたす場合があります。

フロントスポイラーLH裏側図示
RH側も同様に

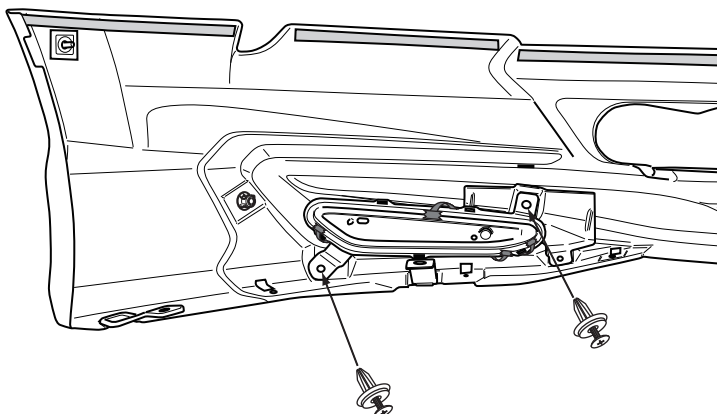


2. LEDユニットの両面テープ離型紙を下図を参照に一部剥がし、裏側に折り返してマスキングテープ等で貼り付ける。

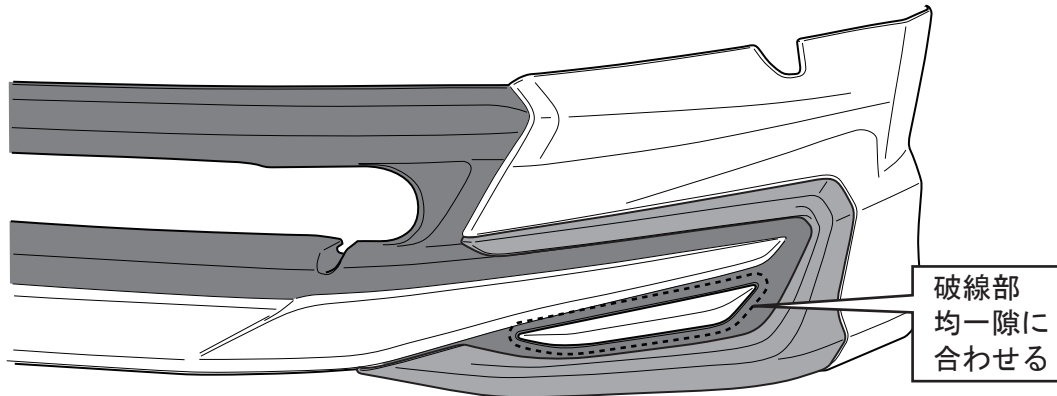
LEDユニットLH図示
RHも同様に



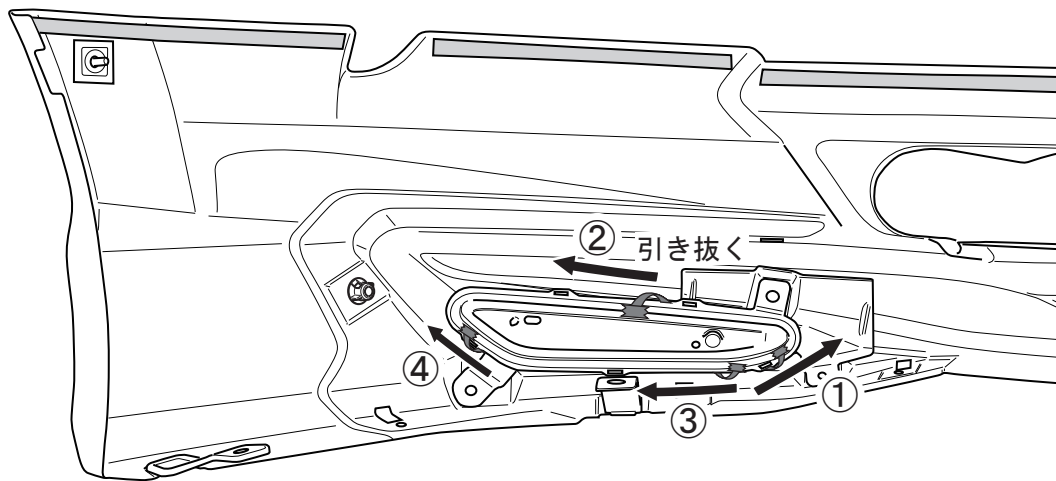
3. フロントスポイラーにLEDユニットを合わせ、取り外したクリップで仮固定する。



4. フロントスポイラー表面からLEDユニットの取り付け位置が合っていることを確認し、両面テープ部を押しつける。(仮圧着)



5. LEDユニットの両面テープ離型紙を、下図の順に矢印の方向へ引き抜きながら圧着する。



アドバイス

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下しますので、気を付けて作業して下さい。



アドバイス

離型紙が途中で切れない様に、LEDユニットを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行なって下さい。

6. 仮固定していたクリップのピンを奥まで押し込む。

脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

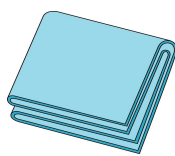


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

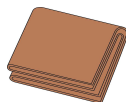


水拭き用バケツ



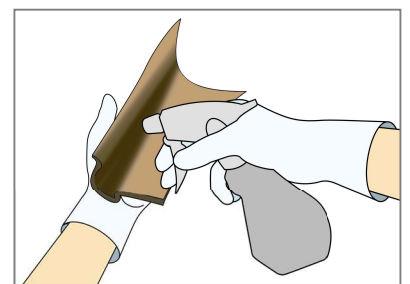
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

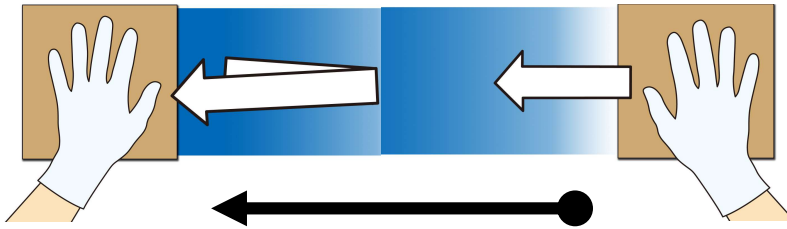
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1ブロック60cm程度として両手にWETとDRYのウエスを交互に持ち
WET⇒DRYの順に拭き上げて脱脂する。

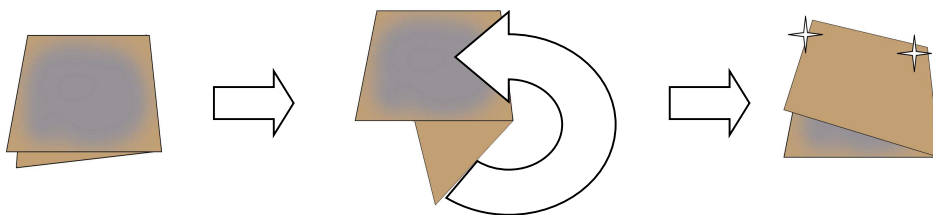
範囲が広い場合は1ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に3~5ブロック毎にウエス表面を折り返しウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際にウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書にしたがって行ってください。

ハリアー モデリスタバージョン

MSD41-48003(代)/04/05/06/09/10

D2531-63110/D2531-63220

フロントスポイラー 電源ハーネスキット 取付要領書

設定型式:MXUA8#/AXUH8#/AXUP85 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、電源ハーネスの取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

取り付け上の注意事項

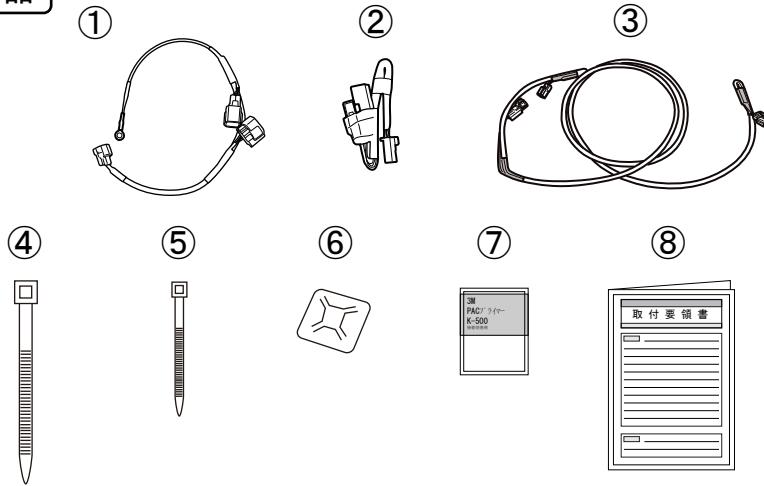
- 本製品は適合車種以外の車には取り付けできません。
- 本製品は用途以外の目的で使用しないで下さい。
- 取り付け作業は安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
- 取り付け作業中の車はエンジンを停止し、エンジンキーを必ず取り外しておいて下さい。
- 取り付け作業の前に必ずバッテリーの（-）側端子を外して下さい。又、（-）側端子は（+）側端子と接触しないようにして下さい。
- 構成部品及び部品点数が取り付け要領書通りになっているか、また、不良部品の混在が無い確認して下さい。
- 車両部品の脱着には、必ず車両修理書を参照して下さい。また、本取り付け要領書で指示している部品以外は取り外さないで下さい。
- コードを引っ張ったり、重ねて使用したり、挟んだりしないで下さい。発熱や断線の原因になります。
- コードの取り廻しは、必ず取り付け要領書通りに行なって下さい。
- 誤った取り付け・分解・改造等は故障の原因・破損・感電・ショートの原因になります。そのような場合による損害の責任は一切負いかねます。

取り付け完了後の点検・注意事項

- 各システムの設定・確認を行なって下さい。（車両修理書「バッテリーターミナル脱着時の設定／作業」を参照）

👉アドバイス……この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいていただきたい事を左図マークで表示しております。

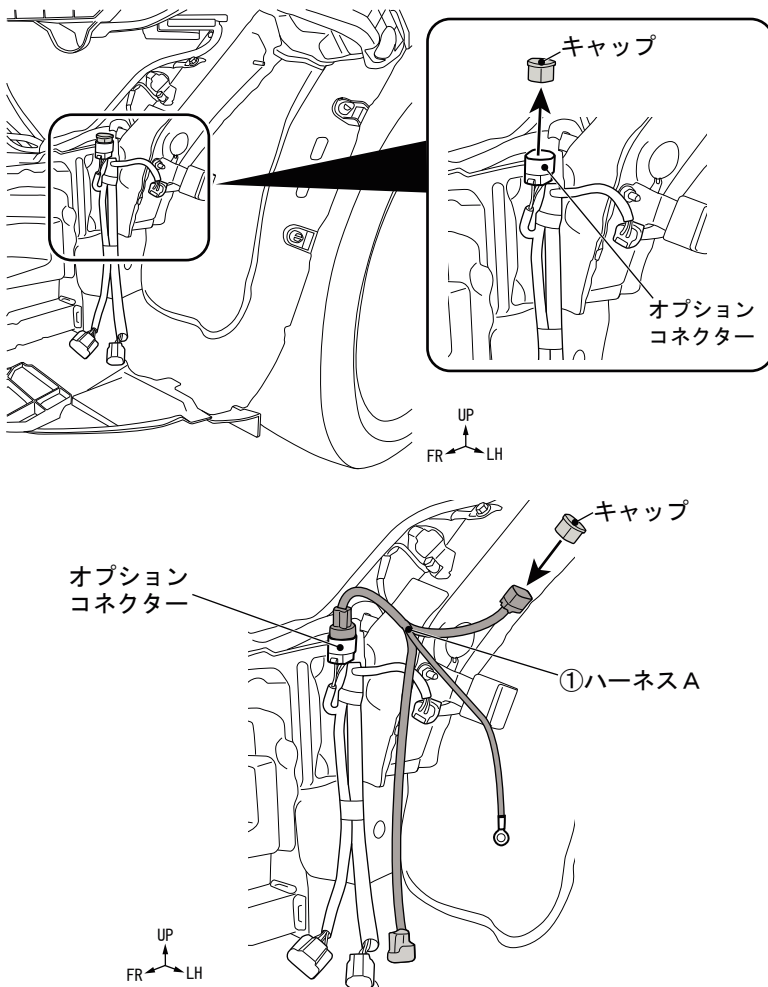
構成部品



No.	品名	個数
①	ハーネスA(エンジンルーム用)	1
②	ハーネスB(室内用)	1
③	ハーネスC(バンパー用)	1
④	結束バンド	11
⑤	結束バンド短	1
⑥	マウントベース	1
⑦	PACプライマー K-500	1
⑧	取付要領書	1

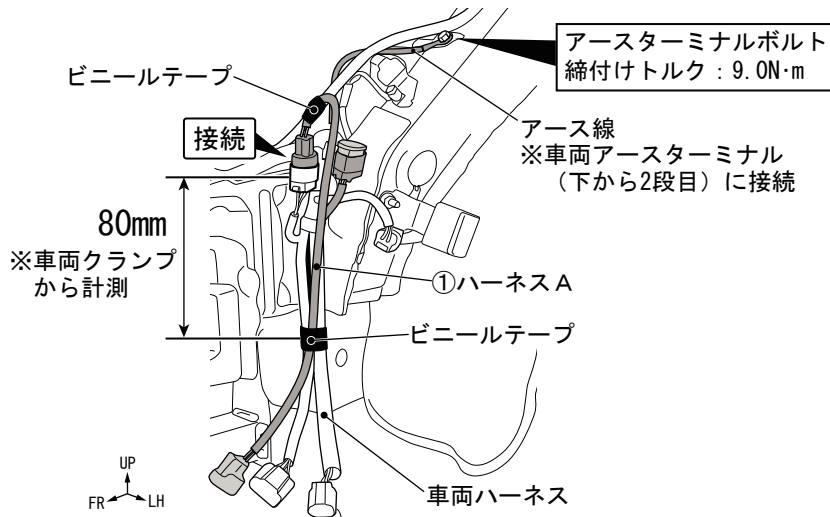
取付手順

配線作業 (エンジンルーム側)

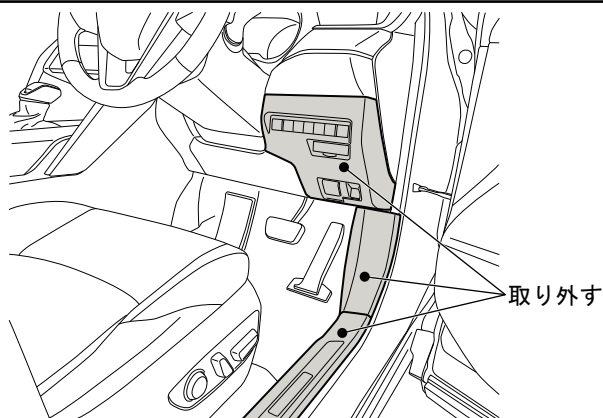


1. 配線作業 (エンジンルーム側)

1. 車両左側前方の図示車両オプションコネクターのキャップを取り外す。
(左図参照)
2. 車両オプションコネクターに①ハーネスAを接続し、1. で取り外したキャップを取り付ける。
(左図参照)



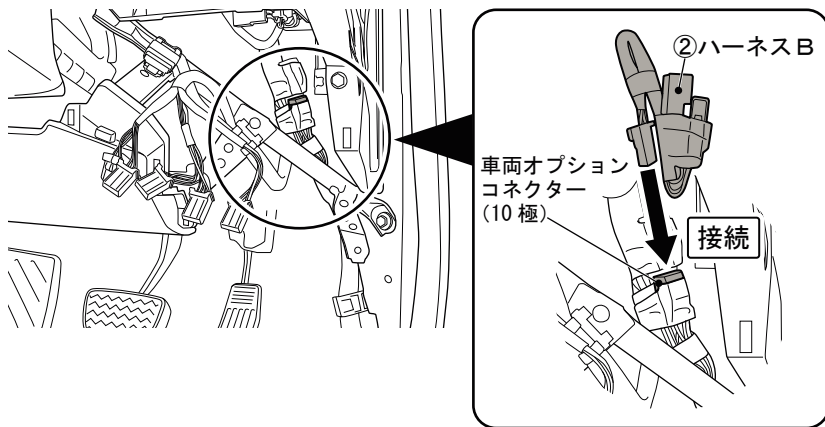
3. ①ハーネス A のアース線を図示車両アースターミナルに接続し、①ハーネス A を車両ハーネスにビニールテープで固定する。
(左図参照)



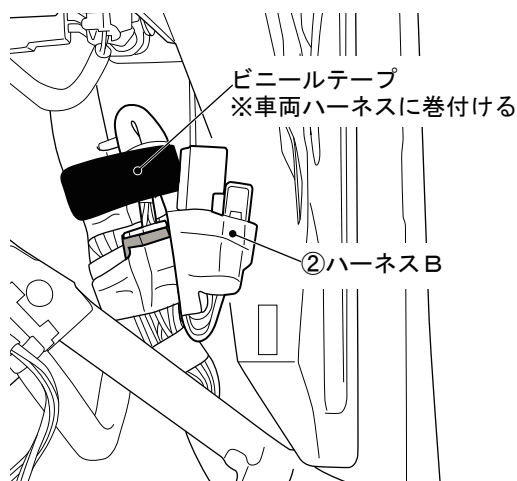
1. 運転席側の車両内装パネル類を取り外す。
(左図参照)

アドバイス

- ・ 取り外しの詳細は、トヨタ自動車発行の修理書を参照して下さい。
- ・ 取り外した車両クリップ、スクリューは再使用しますので紛失しない様。ご注意下さい。



2. 車両オプションコネクタに②ハーネス B を接続する。
(左図参照)



3. ②ハーネス B を車両ハーネスにビニールテープで固定する。
(左図参照)

4. 車両内装パネルを復元する。

配線作業（フロントバンパー内側）

1. 下図を参照し、取付けた③ハーネスCを結束バンドで固定する。

フロントバンパー裏に車両ハーネスが有る場合 : ④結束バンド 計11箇所固定

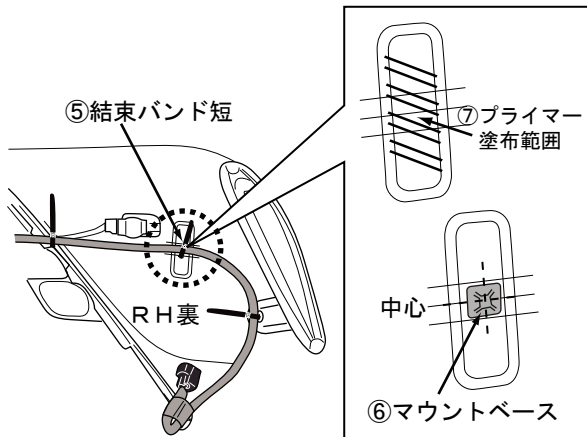
車両ハーネスが無い場合 : ④結束バンド 10箇所

+ ⑤結束バンド短 1箇所 計11箇所固定

矢示箇所

車両ハーネスが有る場合は車両ハーネスに固定する。

車両ハーネスが無い場合は⑥マウントベースをバンパー裏に貼り付け、⑤結束バンド短で固定する。



＜⑥マウントベースの貼り付け＞

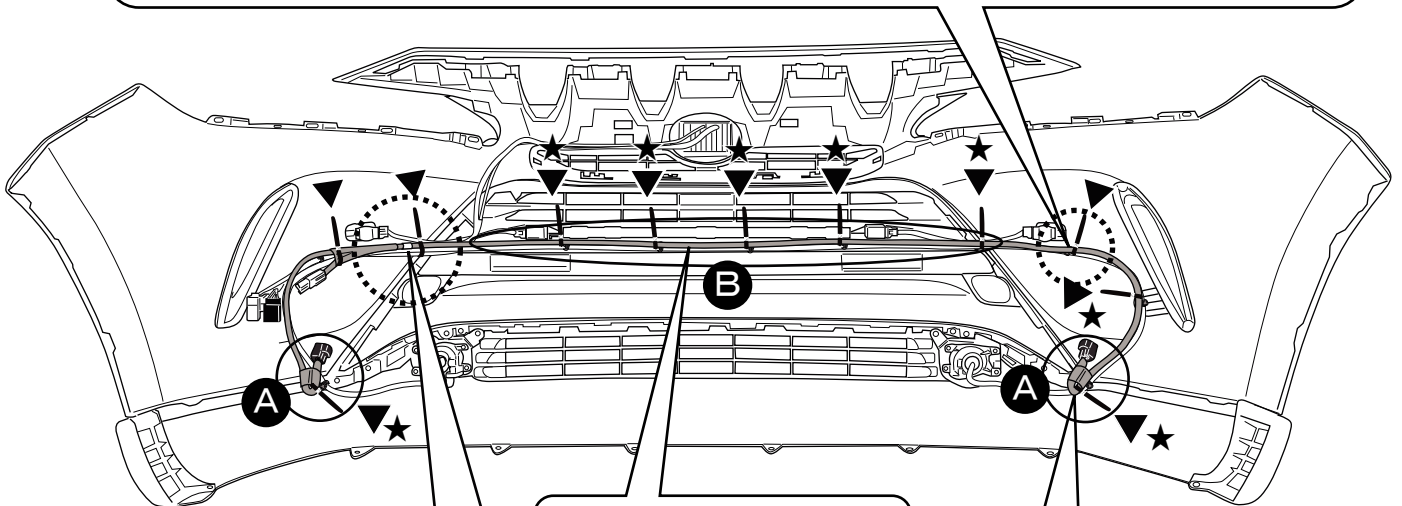
1. 左図を参照し、バンパー裏のケガキ範囲（左図斜線部）に⑦PACプライマー-K500を塗布する。

アドバイス

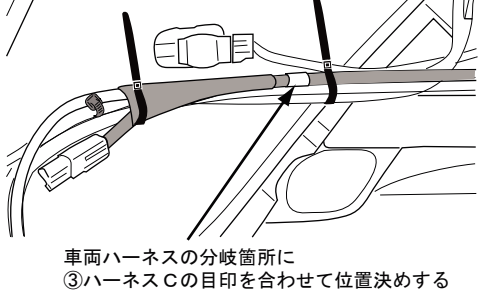
・PACプライマー-K500塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

2. 左図を参照し、バンパー裏ケガキ中心を目安に⑥マウントベースを貼り付ける。

3. 左図の様に③ハーネスCを⑤結束バンド短で固定する。

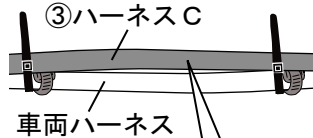


【破線部拡大図】



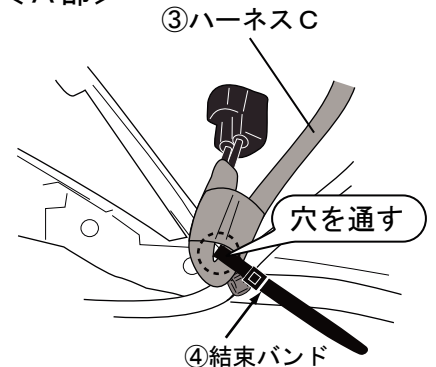
車両ハーネスの分岐箇所に
③ハーネスCの目印を合わせて位置決めする

＜B範囲＞



【車両ハーネス有りの時のみ】
③ハーネスCを固定する際、
車両ハーネスの上を通るように
配策して下さい。

＜A部＞



上図★印 計8箇所について

- ・車両ハーネスが有る場合は、車両ハーネスに固定する。
- ・車両ハーネスが無い場合は、クランプ穴を使用して固定する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント

<https://www.modellista.co.jp>

「お問い合わせ先」

モデリスタコールセンター TEL 050-3161-1000